

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスばずる		公表日		令和7年2月14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		静と動の活動を分けている。	活動に参加できない子どもに対する部屋が少ないことからパーテーションを使い支援を行っていききたい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		職員数は適切。言語聴覚士や理学療法士なども配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		スケジュールや身支度のやり方など絵を用いて視覚的配慮をしている。マットの色分けをして分かりやすくしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		チェックリストを使用しながら、日々清掃、消毒を行っている。活動に合わせて空間の整備を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		クールダウンや体調不良などに対応できるスペースを確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		毎日のミーティング、職員会議などで振り返りを行い、職員全体で次回の支援に繋げている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		年1回の評価表を全体で確認し、改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		モニタリング時期の他、毎日のミーティングで意見する機会を設けている。半年に1回程度管理者面談時に相談することができる。	意見の言いやすい環境づくりを行っていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	外部評価の実施はなし	今後必要に応じて第三者による外部評価を取り入れていくことを検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		研修に参加する職員には報告書をあげてもらい、月一回の職員会議で情報の共有を行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		ホームページで毎月活動カレンダーを公開している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		アセスメント、モニタリングで保護者と面談を行い、ニーズに合った計画作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		ミーティングを行い情報を共有して、個別支援計画案をもとに支援会議を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		職員間で共有し、支援している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		両方とも確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		5領域に沿って作成できている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		分担当でカリキュラムの作成を行い、全体で共有できている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		利用者の好きな活動や新しい活動、また、保護者の意見を取り入れながら検討している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	集団をメインで行っているが、必要に応じて個別でも対応できる。	現在個別対応できる職員配置を行っているが部屋数の都合上個別での支援が難しい状況である。保護者様の要望を聞き今後検討していきたい。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		ミーティングで毎回確認している。必要に応じて朝だけでなく、昼のミーティングも行っている。アプリ等も活用して情報共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	業務内にできない場合は、当日の夕方報告会のみ実施し、情報を共有している。 (未記入1)	職員の勤務状況や、業務状況で共有が難しい場合には今後どのように全職員に共有できるか検討していきたい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		毎日のミーティングで振り返り、内容を業務日誌に記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		必要に応じ、半年以内にモニタリングを実施し、適切な見直しを行っている。 児童の状況に応じ、時期を前倒しにするなど市対応している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	9		企業見学や外出活動、調理活動や制作など4つの基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		活動や自由遊びで選択の機会を設けている。活動に参加できない場合は見学する等、利用者の気持ちを聞きながら対応している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童発達管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		必要に応じ医療機関への付き添う等、連携しながら支援を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		年間計画や下校時刻の確認は基本的に保護者を通して連絡をもらう、書類をもらう等ながら行っている。必要に応じて直接学校との連携、情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		相談支援事業所や保護者を通して、書類での報告や会議の機会を設けて情報を共有している。また、系列の児童発達支援事業所と情報を共有している。（未記入1）	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		8	障害福祉サービス事業へ移行する利用者がない。（未記入1）	今後移行する利用者がある場合は必要に応じ提供していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		年間計画を立て、必要に応じて研修を受ける機会を設けている。（未記入1）	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	8	1	児童館での活動や、夏祭り際には近隣の児童を招待している。	公共施設利用時などに地域の子どもと活動を楽しむ、話をする時間が取れると尚よかった。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	8	事業所のある自治体に協議会がない。	中山町の自立支援協議会には参加はないが、山辺町の協議会には参加している。寒河江市の子ども部会等、所為届があれば参加は出来ている。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		連絡帳の利用や、帰宅時対応で保護者との情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5	具体的なプログラムはないが、口頭での相談対応、助言を行っている。	研修は行ってないため、保護者様からの依頼があれば今後検討していきたい。
保護者へ	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約の際に管理者より保護者に説明を行っている。見学の際も要望があれば説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		アセスメントやモニタリングで何った困り感をもとに立案し、保護者に確認を取りながら進めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		確認、同意をいただいたうえで支援している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		必要に応じて行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	2	年1回程度、夏祭り活動を通して保護者同士の交流を図っている。（未記入1）	保護者会等はないため今後検討が必要。

の 説 明 等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		相談の申し込みがあった際には児童発達管理責任者以外でも対応ができるよう、療育状況の共有を行い迅速に対応している。ヒヤリハットの件数や内容、改善策を玄関に掲示している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		活動等をインスタグラムやホームページに掲載している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		鍵付きの書庫、シュレッターの使用、PCはパスワードをかけて管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		絵やジェスチャーを用いるなどして視覚的配慮をしている。連絡帳やラインなど、様々な伝達手段を使用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		夏祭りへの招待、交通安全教室の実施。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		定期的に嘔吐物処理等の訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		定期的に地震や水害等の避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		服薬変更などの情報は共有し、てんかん時はノートに様子を記載している。個人ファイルを作成し、利用者の状況を確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	3	契約の際の聞き取りの他、フェイスシートに記入していただき確認を行っている。職員間で情報共有が出来ている。	指示書はないため今後検討。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		ミーティングで安全管理等の話し合いを行い、実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		事業所内の訓練の際は前もって伝えている。緊急連絡票も提出してもらい、有事の際はすぐに対応できる状態である。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		毎月の職員会議で検討し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		委員会の設立を行い、職員研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	身体拘束対象児がいいため、記載なし。	拘束を行う場合は了解を得たうえで記載する予定。	